

質の高い看護提供をさらなる高みへつなぐe-ラーニング活用の取り組み

新潟県新発田市にある有田病院で看護部長を務める小池千枝子さんに、看護の質向上につなげる人材育成と働きやすい環境づくりの取り組みについてご寄稿いただきました。

当院の紹介と

e-ラーニング導入の経緯

有田病院は、昭和33年に新潟県新発田市の市街地に単科の精神科病院として開設し、ノーマライゼーションの考え方で医療・福祉サービスの提供に努めている病院です。

看護部には、現在100名ほどの看護職員と看護補助者が在籍しています。看護部の教育研修に関しては、慢性的なマンパワー不足で師長・主任が主体となり、企画・運営をしてきました。しかし準備と時間外での研修により、心身ともに疲弊感もあり課題となっていました。

そこで、2017年度に教育研修のあり方について再検討しました。一人ひとりの成長



▲研修の様子

を支援することを目的に、自宅でも職場でも自由に学べるように職場にWi-Fi環境も整備し、学研ナースングサポートとビジュアルナースングメソッドを導入しました。

e-ラーニング導入後の成果

導入後の学びにより、職員は患者さんに寄り添いたいという思いをさらに強くし、2019年度にキャッチフレーズ『そばにいるからできる事』こころの痛みへ寄り添う看護。そんな場所がここにあります。』と職員自ら表現し、さらに教育理念は『ともに安らぎをめざして「高めよう自分を看護を」』と掲げました。そこには、質の高い看護を提供するためには、まず自分を大切に育ててほしい、という願いがあります。

当院は精神科看護を基本としていますが、患者の高齢化に伴い内科的合併症についても学びが必要であると考えています。日本看護協会版の「看護師のクリニカルラダー」を参考にプログラムを作成し、コロナ禍でも感染状況によっては少人数でのOFF-JT、あるいはOJTに変更しながらe-ラーニングを適宜使い分けて活用しています。

徐々にマンパワー不足も解消され、2020年度には月の時間外労働が平均0.2時間（前年比-0.2時間）、年間の有給休暇取得率は85.7%（前年比+19.7%）と改善され、働きやすい環境に変わりつつあります。同時に時間内研修にシフトし、e-ラーニングの事



◀小池千枝子 看護部長

各部署別ラダー視聴

ラダー	レベルI	レベルII	レベルIII	
1F	がんばってね	56%	72%	▲(図1) 各部署のラダーI~IIIおよび看護補助者の視聴率
2F	80%	56%	72%	
3F	0人	94%	100%	
4F	0人	52%	100%	
看護補助者				100%

▲(図1)

各部署のラダーI~IIIおよび看護補助者の視聴率

前学習を取り入れることで視聴率も上がり、研修当日には活発な意見が交わされるようになりました。とくに新人看護師と看護補助者の視聴率は高い傾向にあります（図1）。

今後の取り組み

当院における精神科看護を構築できるように「日本看護協会版」と「日本精神科看護協会版」のクリニカルラダーの統合に取り組んでいます。また、ビジュアルナースングメソッドにより「当院オリジナル版」の手順書も完成に近づいています。今後はこれらを軌道にのせながらe-ラーニングの視聴の安定化を維持できるような企画を行い、人材育成につなげていきたいと考えています。



医療法人社団 有心会

有田病院

〒957-0014 新潟県新発田市金谷197番地
電話：0254-22-4009 FAX：0254-22-4003

病床数：220床（精神科急性期治療病棟40床、認知症治療病棟60床、精神療養病棟120床）
診療科：精神科、心療内科、神経科、内科
看護要員数：98名（2022年12月現在）

病院理念：いまを支え、あすを創る
看護理念：一人ひとりの尊厳を大切に支援します

導入コース：基本パッケージ（精神科）+ オプション（ビジュアルナースングメソッド）